



武南高等学校進路通信 第13号

進路指導部

新課程入試(2025年度入試以降)の情報共有

【はじめに】

2025年度入試(現高2生対象の入試)から、大学入学共通テストに「情報Ⅰ」が加わるなど、いわゆる「新課程入試」となります。情報以外の科目においても、社会科目の名称変更、数学②における「数学C」の導入、国語や数学②の試験時間の変更などがあります。先輩や家族の入試の形態と異なるという意味では注意が必要となります。しかし、当然ながら毎年現役生にとって大学入試は初めての経験となりますので「変更」ということに過度に反応せず、最新の入試情報を得ながら、志望校に向けて準備をしていくことが大切です。今回は、国公立大学で必須受験となる「情報Ⅰ」についての共有をします。

【大学入学共通テストについて】

まず大学入学共通テストのそもそもの受験意義を挙げておきます。

① 国公立大学1次試験 ②私立大学共通テスト利用入試 ③学校推薦型・総合型(必要な場合)などがあります。また、直接入試で使用しなくとも高等学校基礎学力到達の集大成の試験として受験する人も多くおります。(次年度からは原則として指定校推薦受験者は共通テスト必須受験としています。)

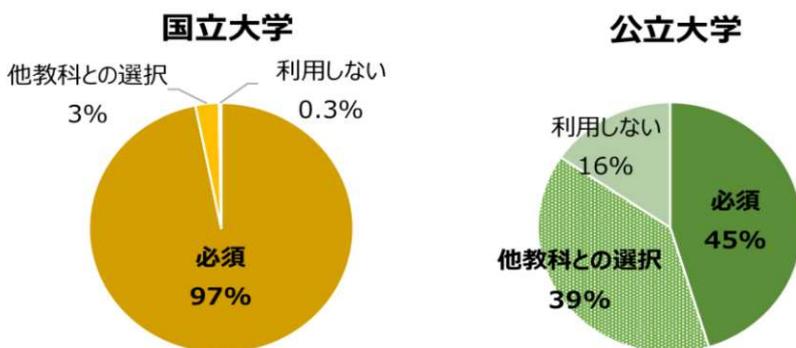
特に①の国公立大学の1次試験においては多くの場合「情報Ⅰ」が必須受験となっています。

②の私立大学共通テスト利用入試においては必須とすることはほとんどなく、選択科目としています。

【共通テストの情報Ⅰの扱い】

河合塾調べ(各大学HPで最新の情報に注意してください)

「情報Ⅰ」の扱いを公表している大学



※河合塾調べ、公表176大学の前期日程募集区分で集計

国立大と公立大で状況が異なる

国立大ではほとんどの大学が必須としており、他教科との選択、情報Ⅰは利用しないとする大学はごく一部にとどまります。

一方、公立大では「必須」と「選択」がほぼ半々に分かれています。公立大では6教科8科目を課す大学は2割余りにとどまります。このため情報Ⅰが選択科目扱いとなっている大学が多くなっています。また「利用しない」とする大学も16%を占めます。

「情報 I」の配点比（全体）

	国立大	公立大	全体
配点比が低い（10%未満）	60%	44%	59%
10%（素点利用）	33%	34%	33%
配点比が高い（10%を上回る）	7%	22%	8%

※河合塾調べ。公表109大学のうち6教科8科目を課し、情報 I を点数化する前期日程の募集区分で集計

他教科より扱いが「重い」大学は少数派

比較をしやすくするために、対象を6教科8科目を課す大学に絞り、情報 I の配点、1000点満点中100点（配点比10%）を基準に、これより配点比が低い大学と高い大学で比較しました。

配点比10%未満（他教科より扱いが「軽い」）が主流派で国立大で約6割、公立大で4割超を占めます。一方、配点比10%を上回る大学は国立大・公立大ともに少数派です。公立大では22%と国立大に比べ比率がやや高くなっていますが、集計対象としている6教科8科目を課す大学が理系に偏っている影響で、国立大・公立大間で傾向に大きな違いはありません。

「情報 I」の配点比（国立難関10大学）

	北海道	東北	東京	東京工業	一橋	名古屋	京都	大阪	神戸	九州
配点比が低い（10%未満）	点数化 しない	100%	未公表	0%	未公表	100%	62%	未公表	50%	74%
10%（素点利用）		0%		100%		0%	8%		0%	17%
配点比が高い（10%を上回る）		0%		0%		0%	31%		50%	9%

※河合塾調べ、6教科8科目を課す前期日程の募集区分で集計

国立難関10大学では7校が情報 I の配点を公表しています。このうち北海道大は情報 I の受験は必須ですが、得点化はしません。合否判定時に成績同点者の順位決定の際、情報 I の成績を活用するとしています。また九州大（経済－経済経営－後）でも情報 I の受験は必須ですが、合否判定には情報 I を除く上位2教科2科目の成績を利用するとしています。

東京工業大では配点比10%（素点利用）で利用、情報 I を特別扱いません。一方、東北大、名古屋大は情報 I の配点比を低くしました。京都大、神戸大、九州大では学部により対応がわかれました。神戸大（理－物理－前・後）では情報 I の配点は5点（配点比率1%）と極端に低くなっています。

【情報 I の問題構成（大学入試センターの試作問題）】

試作問題『情報 I』は、以下の構成で作成している。

問題番号	選択方法	出題内容（平成30年告示高等学校学習指導要領との対応）	配点
第1問	問1 ※1	(1) 情報社会の問題解決	4
	問2 ※2	(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	6
	問3	(3) コンピュータとプログラミング	6
	問4	(2) コミュニケーションと情報デザイン	4
第2問	A ※3	(1) 情報社会の問題解決 (2) コミュニケーションと情報デザイン	15
	B ※4	(3) コンピュータとプログラミング	15
第3問 ※5		(3) コンピュータとプログラミング	25
第4問		(4) 情報通信ネットワークとデータの活用	25
合計			100

【国公立大学受験を考えている生徒へ】

配点が低いからといって軽視はできませんが、「情報 I」について過度に恐れることなく、教科書を中心にしっかりと基礎基本の対策をしていけば国公立大学の道が拓けてきます。各業者の試作問題や、2月3日（土）4日（日）実施予定の2年共通テスト模試（ベネッセ）などを積極的に受験し、復習することにより少しずつ対策・意識をしていきましょう。また、各大学 HP より「2025年度入試（令和7年度入試）予告」が出ていますので、情報 I 以外のことも含めてこまめに最新の情報をチェックしておく必要があります。